

日南町議会議長 山本 芳昭 様

日南町長 中村 英明

櫃田 洋一議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 (要旨を箇条書きしてください)
<p>1. 観光事業について</p> <p>①一般社団法人日南町観光協会に対する企画課の関わりについて伺う。</p> <p>②ホテル、銀杏など多くの人を魅了するスポットがあるが、日南町の魅力発信や戦略について伺う。</p>	<p>1.</p> <p>①町は一般社団法人日南町観光協会へ観光振興事業を委託し、観光事業の振興に取り組んでいる。企画課は、この委託事業を遂行するため事業進捗など状況を共有し連携を図って観光振興事業の遂行に努めている。</p> <p>②魅力は認知・行動・評価の広がり按比例と考えており、本町の観光資源は人々を魅了するレベル、磨き上げ段階、発掘段階と様々で、現在それぞれの段階に応じた発信を行っている。積極的な広報が必要なものもあれば、広告宣伝費をかけなくても人が人を呼ぶ状態のものもある。観光を通じた地域活性化や経済効果、町の認知度向上へつなげることが重要であり、「観光の力による地域課題の解決」をビジョンの一つとして捉えていきたい。そのためには、地元の方をはじめ関係者と一体となって地道に取り組んでいくことが賢明と考えている。</p>

日南町議会議長 山本 芳昭 様

日南町長 中村 英明

## 大西 保議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 (要旨を箇条書きしてください)
<p>1. セントラル農場の環境問題について</p> <p>①11月13日朝に発生した汚水流出後、町長はセントラル農場に対してどのような対応をされたのか。</p> <p>②水質測定結果の数値を見てどのように感じられたのか。</p> <p>③河川の水質悪化に関する意見交換会が1月30日以降開かれていないが、開催の予定はあるのか。</p>	<p>1.</p> <p>①河川の状況から水質検査を実施し、併せて施設の老朽化が明らかであるので、社長との面談を緊急に要請した。</p> <p>②酵素の投入と濁りや泡の関連に疑問をもった。</p> <p>③濁りや泡の通報増加を受けて、年内の意見交換会開催を準備するよう指示した。</p>

日南町議会議長 山本 芳昭 様

日南町長 中村 英明

岩崎 昭男議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 (要旨を箇条書きしてください)
<p>1. ドア・ツー・ドア型のデマンドバス実証運行について</p> <p>①交通空白地域の解消を目指すため、デマンドバスのドア・ツー・ドア試験運行が開始され1カ月が経過した。この間の利用状況はどうであったのか。また、地域住民の反応はどうだったのか伺う。</p> <p>②試験運行を踏まえ、今後の展開について伺う。</p> <p>2. まち協5ヵ年計画について</p> <p>①各まち協の5ヵ年計画の策定状況と主な内容について伺う。</p> <p>②計画の実行には人・金・物が必要と思うが、町の具体的な支援策について伺う。</p> <p>3. 情報化の推進について</p> <p>①町の情報化推進計画の策定状況について伺う。</p> <p>②町ホームページ更新に係る体制（各課からメンバー選定など）と進捗状況について伺う。</p>	<p>1.</p> <p>①11月2日から11月30日までの利用状況は、予約件数112件、利用者数118人。1日平均で6人の乗車。乗降場所は日南病院、日南中学校前、生山駅が上位。地域住民からの反応は特にはないが、利用者からは好評を得ている。</p> <p>②福栄線での実装に向けて取り組むと共に、町全域でのドア・ツー・ドアを目指して検討を進めて行く。</p> <p>2.</p> <p>①現在1地域が策定済、6地域は今年度中に策定を予定している。主な内容は支え愛活動、防災体制の継続、イベントを通じた内外の交流及び地域活性化など。中には法人を設立して経済活動を行う計画もある。各地域特色があり独自性も備わった計画策定を進められている。</p> <p>②既存の集落支援員制度（人の支援）、一括交付金、活性化交付金（金の支援）の活用を継続すると共に、新たな支援が必要と思われる内容については個々に検討していく。</p> <p>3.</p> <p>①現在、計画の基本となる内容の精査を行っている。年度末の計画策定に向けて進めていく。</p> <p>②町ホームページ更新に係る体制は企画課が主となって進めている。現在業者においてレイアウト等の作成作業が進められている。年度内には事業を終え、新年度からの運用を予定している。</p>

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

## 近藤 仁志議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 日南町経営診断計画策定業務委託事業について</p> <p>①町内飲食業、2 事業所が経営診断を受けられた。その診断内容を当事者に報告されたと聞かすが、診断結果をどのように分析されたか伺う。</p> <p>2. アメダス茶屋の存続に向けての要望書について</p> <p>①アメダス茶屋の事業者より、現状のままでは経営体力の限界を要因として 12 月末の休業がやむを得ない旨と、指定管理施設等運営方法の私案を付して、行政での存続策をお願いする要望書が3月に町長宛に出されているがその対応について伺う。</p> <p>3. 下谷中たたら跡のその後の取り組みについて</p> <p>①先の質問に対し、下谷中鉄山跡地は、保存状態、規模、歴史的資料とか町内では唯一の場所と認識しており、価値を高めて県指定などにつなげたいと答弁を頂いたが、その後の取り組み状況及び今後の活用方法について伺う。</p>	<p>1.</p> <p>①診断結果はいずれも専門的見地において現状課題を分析され今後の改善提案がなされており、要点を適切にまとめられた内容であったと理解している。その結果を受けA者は事業改善に取り組まれていることを、B者は事業継続が困難であることを確認している。</p> <p>2.</p> <p>①地域の意見は施設の存続であり、また町内外の愛好者からも存続の声があると聞く。その意向に応えるべく現在存続に向けて事業継承も含め前向きに検討を行っている。</p> <p>3.</p> <p>①本年9月末に、町の文化財保護審議会による現地視察を行った。また、10月末には、文化庁技官と県文化財課による現地視察が行われ、その価値を高く評価された。国の指定になるまでには約4～5年かかるが、今後は、地権者様等のご理解、ご協力をいただきながら、町の文化財指定に向けて測量調査の実施や、歴史的資料による下谷中山鉄山の重要性や存在意義等の確認を行うなど、遺跡の全貌を把握する予定である。指定後には、ふるさと教育や観光などと関連させた活用方法も期待される。</p>

日南町議会議員 山本 芳昭 様

日南町長 中村 英明

久代 安敏議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 (要旨を箇条書きしてください)
<p>1. 学校教育全般について</p> <p>①日南小学校に関する生徒指導事案について、説明を求める。</p> <p>②新型コロナウイルス感染防止対策で、突然の全国一斉休校要請により、学校現場は子どもたちへの対応に追われ、校長をはじめ教職員が、一人ひとりの子どもたちと向き合うゆとりが乏しかったのではないかと推察するが、今回の事案をどう生かす考えか。</p> <p>③教育委員会は、令和4年度からコミュニティ・スクール制度を始める計画があり、さまざまな取り組みをされているが、現時点での課題をどう分析しているか。</p> <p>④新年度から、にちなん保育園を教育委員会に移行する計画がある。「保・小中一貫教育」がめざす中身を問う。</p>	<p>1.</p> <p>①10月9日高学年児童数名が鍵のかかった中期交流教室に侵入、出入口にバリケードを作り、窓からごみ箱等を中庭に投げ落とす事案が発生した。教員の制止もきかず、危険と判断し、外部応援者に連絡、児童からの聞き取りが行われた。該当児童の保護者へ連絡し児童と保護者と一緒に校長の話を聞く。12日の朝、全校集会で全児童へ説明を行い、更に、13日に臨時PTA総会を開き、今回の事案と学校の現状、今後の取り組みについて説明を行った。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、一斉の臨時休校や消毒作業、学校行事の縮小、学習活動の制限など、子どもたちや学校現場に影響があったと考える。現在は、消毒作業を業者委託にして、教員の負担軽減を図っている。学校現場では、子どもたち一人一人に寄り添い理解して、指導や支援を行う必要がある。今後も、保護者や地域の協力を得ながら、関係機関や専門家等とも連携を図り、取り組んでいきたい。</p> <p>③現在、令和4年度よりコミュニティ・スクールをスタートさせるための準備を進めている。現時点では、教職員や保護者、地域の意識改革や7つの地域の地理的環境を生かして「オールにちなん」としてどう機能させていくのか等の課題があると考え。今後、それらの課題を解決するための協議を進めていきたい。</p> <p>④令和3年度から保育園を教育委員会に移管し、保・小・中一貫教育の更なる推進を図りたい。特に、一貫教育の柱ともなるふるさと教育の推進や教育と保育の連携強化という視点からの幼児教育の充実、教職員・保育士の連携強化等を進めていきたい。そのためにも、教育環</p>

<p>2. 公職選挙法の一部改正と鳥取県西部地区特別職報酬等審議会について</p> <p>①日南町広報に、「公職選挙法改正による選挙公営制度の拡大における日南町の対応について」の意見募集のチラシが入っている。改正点の一つに立候補者の供託金のこと記載されていないのは不備ではないか。</p> <p>②鳥取県西部特別職等報酬審議会の最終答申が発出されて2年が経過する。日南町議会は、議会の総意として日南町独自の報酬審議会を設置されるよう要望しているが、その後の進展状況はどうなっているか。</p>	<p>境整備や教職員・保育士の研修等の充実を図り、質の高い保育・教育を目指していきたいと考える。</p> <p>2.</p> <p>①この度の意見募集は選挙公営制度を実施する条例を制定することについてであり、供託金は法律で定められ町民の意見を伺う余地のないものであるため意見募集は行わない。公職選挙法の全体的な変更点の周知は、次回町の選挙を実施する際に広報や立候補者説明会等で説明していく。</p> <p>②西部町村会で方向性を研究・協議しており、コロナ感染症の経済影響や、県下の議員報酬改定議論の状況を確認しながら次期議会改選期を想定したスケジュールを持って具体的な協議を進めていく考えである。</p>
--	--

日南町議会議長 山本 芳昭 様

日南町長 中村 英明

岡本 健三議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 (要旨を箇条書きしてください)
<p>1. 国民健康保険の都道府県化と第2期の運営方針について</p> <p>①2018年4月から始まった国民健康保険（国保）の都道府県化の功罪について見解を問う。</p> <p>②都道府県化にともない、県・市町村国保連携会議などで保険料水準を県下で統一する議論がなされている。統一に対する見解と、統一へ向けての県と各市町村の意向・状況に関する認識を問う。</p> <p>③第2期鳥取県国保運営方針の策定に係る意見照会に対してすべて「意見なし」との回答であったが、県にすべてを委ねるといふことか。</p> <p>④18歳以下の子どもの均等割の減免について、3月議会の一般質問で「保険料水準の統一に向けた議論の中で、検討すべき」との答弁であった。目下、連携会議などでまさに統一に向けた議論がなされているが、町としてどのように取り組んでいるか問う。</p> <p>2. ごみ処理の広域化について</p> <p>①9月議会の一般質問の答弁に「本事業の方向性は従来から変わるものでなく」とあった。この「従来から」の「方向性」とは平成16年7月の西部広域行政管理組合規約の改正によって定まったごみ焼却施設の広域化の方針を指すのか。</p> <p>②近年顕在化した地球温暖化やプラスチックによる環境汚染などの問題を踏まえ、再度住民の理解を得るために説明会を開く必要があると考えるがどうか。</p>	<p>1.</p> <p>①標準的な算定方式になり、市町村負担の見える化が進んだ。</p> <p>②各市町村も保険料水準の統一を目指すことに異論はないが、実施時期などに考えの違いはある。</p> <p>③運営方針策定にあたっては、各市町村の担当者による作業部会で素案を検討することから意見は少ない。</p> <p>④保険料水準の統一の議論は令和3年4月から本格化する見込み。</p> <p>2.</p> <p>①平成13年の可燃ごみ処理広域化基本計画において施設を集約する方向性が決まり、16年7月の規約改正に至っている。</p> <p>②ごみ処理の広域化に関する住民説明会は現時点では考えていない。ただし、地球温暖化、環境汚染等の課題に対しては、環境審議会などで議論していく。</p>

日南町議会議長 山本 芳昭 様

日南町長 中村 英明

## 坪倉 勝幸議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 (要旨を箇条書きしてください)
<p>1. 日南町農業の将来ビジョンについて</p> <p>①平成22年に策定された「日南町の農業の将来ビジョン」を検証、修正する形で「日南町農業の将来ビジョン」を策定されたが、ビジョンの意義について問う。</p> <p>②ビジョンの実現のために農業委員会としてまた、農業委員、農地利用最適化推進委員としてどう取り組まれるのか問う。</p> <p>③町政における意義と位置づけについて問う。</p> <p>④ビジョン実現のための具体的方策を問う。</p> <p>2. 来年度予算編成方針について</p> <p>①来年度予算編成の基本的な考え方及び重きを置かれる点は何か問う。</p>	<p>1.</p> <p>①平成22年の「日南町の農業の将来ビジョン」は、農産物等のブランド化などを意識したビジョンであるが、今回のビジョンは稲作等の土地利用型農業の維持に重点に置いている。</p> <p>②担い手への農地利用の集積・集約化など「農地等の利用の最適化」や、農林課と連携しながら人・農地プランを中心に取り組んでいく。</p> <p>③日南町農業の課題をより深掘りして明示していることに意義があり、総合計画と同様に目指すべき目標として位置づける。</p> <p>④担い手対策、所得対策、農地活用等課題は多岐に亘っている中で、全体計画を作り、できることから着手したい。</p> <p>2.</p> <p>①「第6次日南町総合計画」及び「第2期日南町人口ビジョン・総合戦略」に定めたKPIを達成するため、引き続き「まち・ひと・しごと創生」を施策の柱としながら、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた新たな生活様式での考え方や視点も取り入れつつ事業を構築する。また、地方交付税や各種交付金など減収する歳入の状況を鑑みながら、これまでも増して施策の選択と集中により「事業の推進」と「財政の健全化」の両立を図る。</p>